

第2章 都市づくりの基本課題

本町における都市づくりの現状・進捗や住民意識調査の結果等に基づき、各分野のニーズ・問題点を整理するとともに、まちづくりの潮流も交えて、これからの都市づくりの基本課題を抽出します。

1 都市機能、土地利用

ニーズ・問題点

- ・ 働ける場所が少なく、また産業振興、企業誘致に向けたまとまった工業用地が不足している。
- ・ 駅周辺や商店街などにおけるまちの賑わいが乏しい。
- ・ 市街化調整区域ではスプロール（虫食い状態）での住宅立地が進んでいる。
- ・ 住宅と工場が混在している地域では騒音や悪臭などの苦情もある。
- ・ 身近に大きな病院がない。
- ・ 担い手不足などから耕作地が減少している。

まちづくりの潮流

- ・ 人口減少社会に向けた集約型都市構造への転換、効率的なまちづくり
- ・ 少子・高齢社会に対応した、歩いて暮らせるまちづくり
- ・ 住み続けたいくなる愛着と誇りの持てるまちづくり
- ・ 地域活力の維持・向上のための既存産業の操業環境の充実、新産業の立地促進、新たな起業の誘導

都市づくりの基本課題

- ・ 尾張都市計画区域の広域的な位置づけに対応した都市機能の誘導（駅周辺の住宅供給）
- ・ 駅を中心とした利便性の高い賑わいのある商業地、住宅地の誘導（少子高齢化に対応した良好な市街地の形成）
- ・ 密集市街地の改善による安全・安心な市街地の形成
- ・ 住工混在の解消を図るための適正な土地利用の誘導
- ・ 新規の工業等の立地誘導に対応した土地利用の推進
- ・ 文化交流拠点を核とした文化の香り高いまちづくりの推進
- ・ 市街化区域への開発誘導
- ・ 農地の保全、遊休農地の解消

2 道路・交通

ニーズ・問題点

- ・ 県道を中心とする都市計画道路に未整備の場所がある。
- ・ 踏切等において交通渋滞が発生している。
- ・ 身近な生活道路は狭く、安全性への不満度が高い。
- ・ 歩道が設置されている道路は少なく、交通事故の危険性も高く、歩きやすい歩行空間へのニーズが高い。
- ・ 自転車及安全・安心に走行できる道路整備へのニーズも高い。
- ・ 鉄道以外の公共交通機関がなく、病院等へアクセスする公共交通へのニーズが高い。

まちづくりの潮流

- ・ 事業の重点化による道路整備
- ・ 安全・安心な道路環境の整備
- ・ 少子・高齢社会に対応した移動手段の確保

都市づくりの基本課題

- ・ 都市計画道路等の計画的な整備、改良
- ・ 幹線道路の交通渋滞、交通事故の解消に向けた交差点改良等の推進
- ・ 人にやさしい安全な歩行空間の整備（歩道整備、カラー塗装、バリアフリー化）
- ・ 交通事故の多い交差点等の解消（カラー塗装、信号機の設置）
- ・ 超高齢社会などに対応した公共交通の充実（タクシー助成の充実をはじめとした新たな公共交通などの検討）

3 公園・緑地

ニーズ・問題点

- ・都市公園が少なく、特に大規模な公園がない。
- ・町内に地区毎に児童遊園が点在しているが、住宅地における公園などのニーズは高く、特に防災機能を備えた公園、老若男女がいつでも気軽に集える公園、家族で楽しめる公園、ボール遊び等のできる公園などへのニーズが高い。
- ・住宅地等の整備により、樹林地や農地が減少しているが、緑地を保全・活用するニーズも高い。
- ・一部であまり利用がされていない公園や悪戯等される公園などもある。

まちづくりの潮流

- ・既存ストックの積極的な活用と適正な維持管理（量から質の向上）
- ・協働による公園緑地づくり、緑化の推進
- ・町の骨格を形成する農地、樹林地の保全、新たな森づくり

都市づくりの基本課題

- ・地域住民が日常的に憩い、災害時には避難場所となる公園の確保
- ・子どもがのびのびと遊ぶことができる身近な公園等の確保
- ・緑あふれるまちに向けた緑地の保全・創出と緑化の推進
- ・住民参加による公園・緑地の整備と維持管理
- ・多面的機能を有する農地、樹林地の保全・活用（環境面、景観面、レクリエーション面、防災面）

4 河川・下水道

ニーズ・問題点

- ・ 夕立程度の降雨で、河川の氾濫、冠水、たん水などの水害が発生している。
- ・ 青木川は川幅が全体的に狭く、浸水被害が起きており、改修へのニーズが非常に高い。
- ・ 水質浄化に向けた下水道（汚水）の整備など生活環境整備へのニーズが高い。
- ・ 身近な水辺に親しめる場所、生物が生息できる水辺環境が少ない。
- ・ 河川などの水辺景観の保全・整備へのニーズが高い。

まちづくりの潮流

- ・ 集中豪雨に対応した総合的な治水対策
- ・ 生物多様性に向けた河川づくり（水質浄化、生物の生息環境の確保）
- ・ 水辺に親しむ環境づくり

都市づくりの基本課題

- ・ 水害対策（河川の拡幅整備・管理、雨水貯留施設・雨水浸透柵の設置、農地・緑地保全などの総合的な治水対策）
- ・ 水質浄化、生物の生息環境の確保
- ・ 住民にうるおいと安らぎを与える親水景観の整備
- ・ 河川等の水質改善及び快適な生活環境の実現のための下水道の整備と接続促進

5 自然環境、都市環境

ニーズ・問題点

- ・ 樹林地や農地の減少、水路のコンクリート化などで多様な生物が生息できる環境が減少している。
- ・ 鉄道以外の公共交通がなく、車での利用が多い。
- ・ ごみの分別、リサイクルなどによりごみの減量化を進めているが、高架下、樹林地などで不法投棄がみられる。
- ・ 街路樹の手入れや公園の清掃参加などへの住民の活動ニーズは高い。

まちづくりの潮流

- ・ 地球温暖化対策など、環境負荷の低減を図るまちづくり
- ・ 生物多様性を保全するまちづくり
- ・ 循環型社会の形成に向けたまちづくり
- ・ 協働によるまちづくり

都市づくりの基本課題

- ・ 水辺や緑地などの自然環境の保全
- ・ 駅を中心とした公共交通のあり方の検討
- ・ 自転車利用の促進（自転車専用道の整備）
- ・ 安心して楽しく歩ける生活道路づくり
- ・ 公共施設等における新エネルギーの活用
- ・ エコ住宅等の普及・建替え・改善促進
- ・ ヒートアイランド、地球温暖化防止に向けた緑化促進

6 都市景観

ニーズ・問題点

- ・木曽川は扶桑町の特色のある水辺景観になっているが、それ以外の扶桑町らしい景観が少ない。
- ・生活環境の良さとして河川、緑地、農地などの自然の豊かさがあげられており、これらの水辺景観、緑地景観、田園景観を守るニーズが高い。
- ・魅力的な都市環境を形成するために、公園や緑地を増やすことへのニーズが高い。
- ・日照や眺望などが悪化する高層建築物を規制することへのニーズが高い。
- ・駅や商店街などまちににぎわいが無い。

まちづくりの潮流

- ・都市の品格を高める魅力ある市街地づくり
- ・魅力とにぎわいづくり
- ・良好な住宅地景観づくり

都市づくりの基本課題

- ・地域に愛着と誇りが持てる景観資源の発掘と活用
- ・緑を生かした良好な住宅地景観の形成
- ・にぎわいのある駅前や商業地の景観づくり

7 防災・防犯

ニーズ・問題点

- ・狭あいな道路、ブロック塀なども多く、緊急時の通行が懸念されているばかりでなく、古い木造住宅が残る密集市街地がある。
- ・身近な場所に避難場所が少ない。
- ・住宅等の耐震化があまり進んでいない。
- ・犯罪も多くなってきており、防犯対策へのニーズが高い。

まちづくりの潮流

- ・風水害、地震、火災等の災害に強いまちづくりによる防災・減災
- ・犯罪が多発しており、住民と行政の協働による安全・安心なまちづくりによる抑止力の強化

都市づくりの基本課題

- ・地震対策（密集市街地の改善、住宅等の耐震化、狭あい道路の解消（セットバックの徹底）、避難路・避難場所の確保、生垣促進）
- ・防火対策（密集市街地の改善、住宅等の耐火化、緩衝緑地の確保）
- ・防犯対策（街路灯の設置充実、防犯パトロールなど）

扶桑町の都市づくりの課題

